

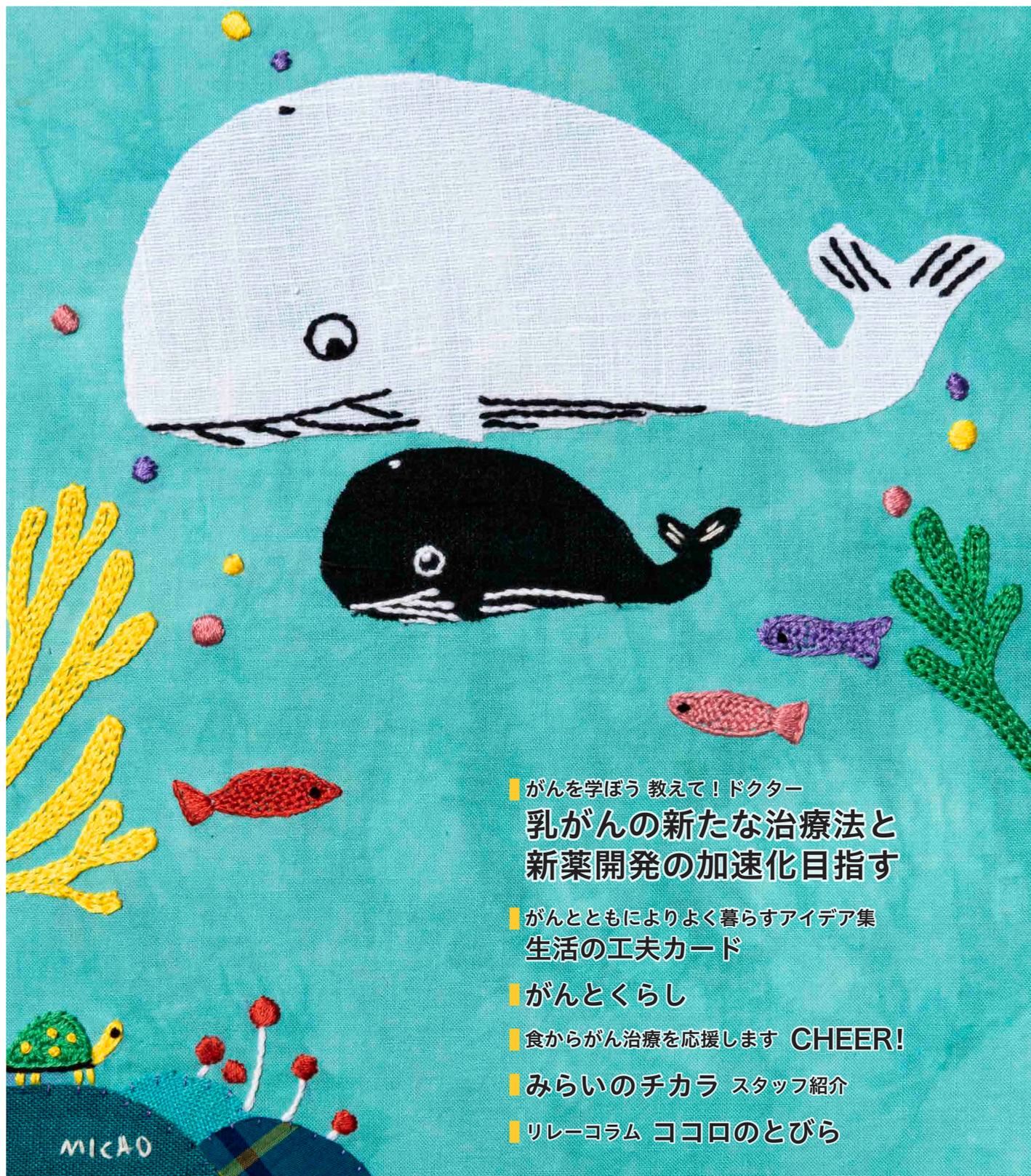
日々歩

hibiho
ひびほ

TAKE
FREE

がんをこえて、ともに歩む

No.35 / 2025年7月



- がんを学ぼう 教えて！ドクター
乳がんの新たな治療法と
新薬開発の加速化目指す
- がんとともによりよく暮らすアイデア集
生活の工夫カード
- がんとくらし
- 食からがん治療を応援します CHEER!
- 미래のチカラ スタッフ紹介
- リレーコラム ココロのとびら



日々歩

hibiho
ひびほ

がんをこえて、ともに歩む

No.35 / 2025年7月

CONTENTS

- 2 News & Topics
- 3 がんとともによりよく暮らすアイデア集
生活の工夫カード
食べる②
- 3 がんとくらし
高額介護合算療養費制度とは
- 4 がんを学ぼう 教えて！ドクター
乳がんの新たな治療法と
新薬開発の加速化を目指す
- 6 食からがん治療を応援します CHEER！
パセリのキーマカレー
あさりの佃煮
- 7 미래のチカラ スタッフ紹介
- 7 リレーコラム ココロのとびら
日々の充実感やよろこびを
取り戻すには
- 8 ご寄付のご報告

マイナ保険証または資格確認証をお持ちください



有効期限内の健康保険証は2025年12月1日まで使用できますが、12月2日以降は使用できなくなります。保険証確認には「マイナ保険証」または保険者から送付される「資格確認証」をご持参ください。

院内に設置している顔認証付きマイナ保険証資格確認端末をご利用いただくとスムーズに保険証確認を行うことができますので、ぜひご利用ください。

次回の「がんサポ」は2026年3月8日(日)開催

中央病院が主催する「がんとサポート(通称:がんサポ)」は、患者さんやそのご家族などと医療者が、がんになっても安心して暮らせる社会について一緒に考えるイベントで、毎年大きな共感と気づきを生み出しています。今回は「がんになってもしなやかに生きる! みんなで語り支え合う」をテーマに、スペシャル対談のほか、患者さん向けに行っている患者教室やセミナーなどを一般公開しますので、ぜひご来場ください。



柏の葉リレーコラム「ともに歩む」の連載がスタートしました!

2025年4月より、東病院の医師や看護師、薬剤師、栄養士など多職種にわたり、患者さんや一般の方々に向けてがん医療やがんに関わるトピックを紹介する連載企画がスタートしました。東病院ウェブサイトでの掲載に加えて、院内でもチラシを配布しています。

ぜひ右記の二次元コードから記事をご覧ください。



第4回紺綬褒章伝達式を開催

国立がん研究センターへのご寄付により、2名の紺綬褒章授与が閣議決定され、2025年4月25日(金)、築地キャンパスにて第4回紺綬褒章伝達式を開催しました。当センターは、2018年7月より、日本の褒章制度の一つで、公益のために私財を寄付し功績顕著なるの方々へ授与される「紺綬褒章」の公益団体として内閣府賞勲局に認定されています。





生活の工夫カード

テーマ
食べる②



生活の工夫カード
ウェブサイト
詳細はこちら



栄養を補うだけではない！ 食べることを楽しむ工夫を紹介「食べる」ことに影響のある症状や治療による影響に対する工夫をご紹介します。



吐き気で食欲がでない

食欲不振は、抗がん剤や放射線治療によって引き起こされることがあります。吐き気がある場合は、食前に吐き気止めを内服して吐き気をコントロールすることも有効です。食事を食べることができそうなタイミングで少量ずつ数回に分けて食べることで、栄養補助食品の利用も有効です。少量で高カロリーを取れるアイス等もよいです。

No.19 食欲がわかない・食べられない



白血球が減ってしまい、食べものからの感染が心配

抗がん剤治療や放射線治療により白血球が減ることで、感染症にかかりやすい時期があります。安心して食事を楽しむために、生野菜用と肉・魚用で使う包丁・まな板を分ける、十分に加熱し、調理後は早めに食べるなどの工夫ができます。白血球が著しく減っている時期だけは、刺身や生野菜などの生ものや発酵食品などを控えることもあります。

No.22 白血球が減ったときの食事

今回は「装う①」をご紹介します。



以前と味覚が変化してしまった

味覚の変化は、抗がん剤治療や口腔・舌への放射線治療、舌の乾燥や汚れなどにより生じます。美味しく食べるために、出汁や香味を活用する、家族に味見をしてもらうなど調理の工夫ができます。歯磨きやうがいなどで口の中を清潔に保つことも、症状を乗り切るポイントです。

No.28 味覚の変化



食事のにおいが不快

においの感じ方の変化は、抗がん剤治療や頭頸部への放射線治療により生じ、温かい食事のにおいが気持ち悪い、においや味を感じないので何を食べているかわからない、など感じ方が変わることがあります。食事を冷ます、冷たくにおいの少ない食品を摂取するなどの工夫ができます。香りを楽しみたい時は、ハーブやスパイスを効かせるのも手です。

No.29 においの感じ方の変化

ワンポイントアドバイス

がん治療中の食事は、栄養を補い体力を保つという大切な役割を担っています。また、「食べること」が日々の楽しみや気分転換につながることもあります。体調に合わせて、「食べやすいもの」「食べたいと思えるもの」「好きな味」を大切にしてみてください。



中央病院
腫瘍内科
さいとう あゆみ
齋藤 亜由美

がんとくらし

今回のご相談

「自分のがんの治療費と妻の介護保険サービス料、公的な保険が適用になっているとはいえ長期間になるとなかなか大変です。少しでも費用負担を減らす制度はないでしょうか？」

奥さまの自宅介護をしつつ、ご自身はがん治療を受けておられる方からの相談です。

今回のご相談のように、もし長期にわたり、複数のご家族が医療や介護サービスを利用している場合は、一度、高額介護合算療養費制度の適用について確認してみてください。

■高額介護合算療養費制度とは

高額介護合算療養費制度は、医療保険と介護保険における1年間(毎年8月1日～翌年7月31日)の自己負担の合算額が高額な場合に、自己負担を軽減する制度です。

自己負担限度額

所得区分	70歳以上	70歳未満
年収約1,160万円以上	212万円	212万円
年収約770万～約1,160万円	141万円	141万円
年収約370万～約770万円	67万円	67万円
～年収約370万円	56万円	60万円
市町村民税非課税世帯	31万円	34万円
市町村民税非課税世帯 (年金収入80万円以下等)	19万円	34万円

*70歳以上と70歳未満が混在する世帯の場合、まず70歳以上の自己負担合算額に限度額を適用し、その後残る負担額と70歳未満の自己負担合算額を合わせた額に限度額を適用します。

- ①世帯単位: 医療保険と介護保険の自己負担額を合算し、所得区分に応じた限度額を超えた場合に超過分が還付されます。
- ②自己負担限度額: 自己負担限度額は、世帯の年収や年齢によって異なります。70歳未満の場合は5段階に分かれており、年収約370万円～約770万円の世帯では年間67万円が上限となります。
- ③申請方法: 市区町村の介護保険担当窓口および医療保険窓口でお手続きが必要です。
- ④申請期限: 基準日である7月31日の翌日から2年間です。

この他、高額療養費制度にも“世帯合算”という制度がありますので、家族全体で出ていくお金を減らし入ってくるお金を増やす、という視点から公的制度の活用を見直すことも大切です。

日本の公的制度は原則、自己申請制といって患者さん本人が自身の状況に合致した制度を知り、適切な窓口へ申請して初めて利用可能となる仕組みです。ご自身が利用できる公的制度について確認されたい方は、遠慮なくがん相談支援センターにお声がけください。

解説: 坂本 はと 恵 (東病院サポーターケアセンター/がん相談支援センター 社会福祉士)

乳がんの新たな治療法と新薬開発の加速化目指す

中央病院 乳腺外科医員
前田 日菜子

中央病院 腫瘍内科医員
齋藤 亜由美

乳がんは女性のがんの中で最も患者数の多いがん種です。治療は日進月歩であり、当センターでも、乳がんに関わる各科が一丸となって、より効果と安全性の高い治療法の開発を進めています。中央病院の乳腺外科や腫瘍内科が中心になって開発した乳がんに対する治療と、新薬の開発を加速化させる体制整備について、同院乳腺外科の前田日菜子医師と腫瘍内科の齋藤亜由美医師が解説します。

早期乳がんを切らずに治す治療も新たに保険適用に

乳がんの手術は、胸の筋肉まで大きく切除するのが一般的だった時代もありますが、乳房を温存する部分切除術が広がり、わきのリンパ節もできるだけ切除しないようになってきているなど、縮小化が進んでいます。2023年12月には、早期乳がんに対するラジオ波焼灼療法が保険適用になり、わきのリンパ節やほかの臓器へ転移がない早期乳がん治療の選択肢がさらに広がりました。

「早期乳がんに対するラジオ波焼灼療法は、当院を中心に2013年から多施設共同で実施した医師主導特定臨床研究(RAFAELO試験)の結果を基に保険適用になった治療法です。最大のメリットは乳房を切らないで済むことです。腫瘍の大きさが1.5cm以下で、一般的な乳がんのタイプである浸潤性乳管がんであるなどの条件を満たす必要はありますが、乳房にキズが残らず、変形を最小限にとどめます」。中央病院乳腺外科医員の前田日菜子医師はそう説明します。

ラジオ波焼灼療法は、超音波の画像を見ながら皮膚の上から病変に針を刺し、高周波の電流で焼き切る治療法です。乳がんのラジオ波焼灼療法は全身麻酔下で行い、部分切除と同様に4日間の入院が必要です。ただし、ラジオ波で焼き切れなかったときには、部分切除術で病変を取り除くこともあります。

全摘手術+再建術も含め高水準の手術を提供

中央病院乳腺外科では、年間約800例の乳がん手術を実施しています。

「当院の乳がん治療チームには、医師だけではなく看護師、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師なども含め、乳がん治療を提供するために必要なプロフェッショナルが揃っています。ラジオ波焼灼療法のような体への負担の少ない治療、乳房温存療法、乳房全摘手術の後の再建術など、現時点の保険診療で提示可能な選択肢が全て揃っているのが当院の強みです」(前田医師)

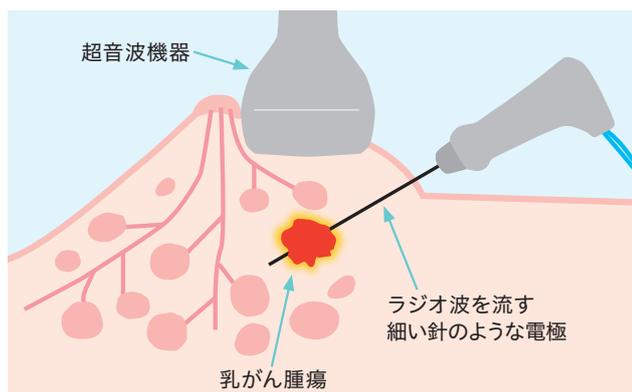
乳房の再建術には、人工乳房(シリコンインプラント)を使う方法と、自分の

腹部や背中の組織を用いる自家組織再建があります。乳がんの手術と同時に自家組織再建ができる病院は限られますが、中央病院の形成外科は、血流のある皮膚と皮下組織(皮弁)を用いた乳房の再建術の経験が豊富です。「女性目線で見て、毎回、ほれぼれとするような仕上がりです」と前田医師は語ります。

乳腺外科では、低侵襲かつ整容性の高い乳がん手術の選択肢を増やすために、2023年8月より内視鏡補助下の乳頭乳輪温存乳房全切除術に取り組んできました。乳頭乳輪温存乳房全切除術は乳頭乳輪と皮膚は残して乳腺を切除し、希望があれば乳房を再建して整容性を保つ手術法です。

これまでの同手術はキズが大きく、術後に乳頭乳輪への血流が滞ってしまう乳頭乳輪壊死が起こることがありました。内視鏡を併用することでキズは4cmと小さく、かつ皮膚や乳頭乳輪を大事に扱うことができ、乳頭乳輪壊死はほとんど見られなくなりました。この内視鏡手術をさらに発展させた単孔式手術支援ロボット「ダビンチSP」を用いた乳頭乳輪温存乳房全切除術の有効性と安全性を検証する臨床研究に、2025年10月頃から参加する予定です。

「まだ研究段階ですが、これまでの内視鏡手術と同様に単孔式の手術支援ロボットを用いれば、体への負担を最小限にしつつ、乳頭乳輪の壊死などの合併症の軽減が期待できます。ステージ0期の非浸潤乳がんの患者さんでも全摘手術が必要になることがあるため、乳がんを治しつつ整容性を保つ手術法の開発は大切です。患者さんのニーズ



乳がんのラジオ波焼灼療法のイメージ

超音波で位置を確認しながら、乳房の腫瘍に電極となる細い針を刺し、AMラジオに近い周波数の高周波電流で、1回に約3cmの範囲でがんを焼き切る。治療時間は10~15分。

に合わせ、手術を提供していきたいと
思います」(前田医師)

閉経前乳がんの 治療選択肢作りに貢献

乳管や小葉を超えて広がった浸潤性乳がんの多くは全身に広がっています。そのため早期の乳がんであっても、手術と併せて再発を防ぐ薬物療法を行うことが多くなっています。

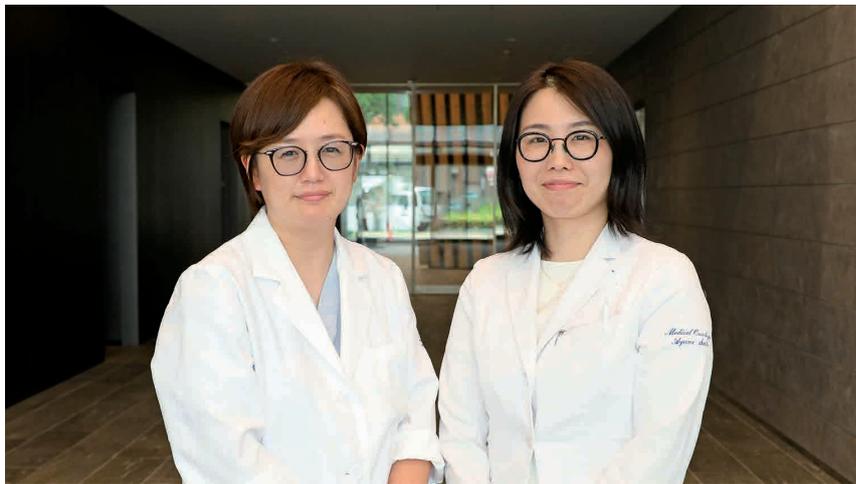
「乳がんの薬物療法では、主に『ホルモン受容体陽性HER2陰性』『HER2陽性』、ホルモン受容体もHER2も陽性ではない『トリプルネガティブ』という3つのサブタイプ分類に応じて治療を選択します。当院の腫瘍内科では、個々の患者さんに合った薬物療法を行うと共に、新たな治療開発にも力を入れています。そう話すのは、乳がんなどの薬物療法が専門の腫瘍内科医である齋藤亜由美医師です。

腫瘍内科では、これまでさまざまな臨床試験を実施し、乳がんの患者さんの薬物療法の新たな選択肢を増やしてきました。

例えば、2024年には、閉経前のホルモン受容体陽性/HER2陰性進行乳がん患者さんに対するパルボシクリブとタモキシフェンの併用療法が、同科主導の国際共同臨床試験「PATHWAY試験」の結果を受けて保険適用になりました。パルボシクリブは、乳がんの増殖や転移に関わるCDK4/6というタンパクの働きをブロックする分子標的薬です。もともと閉経後のホルモン受容体陽性/HER2陰性進行乳がん患者さんには、パルボシクリブとホルモン薬の併用療法が使えましたが、閉経前の患者さんへの治療選択肢が少ないことが課題でした。

このPATHWAY試験には、日本の12施設に加えて、韓国、台湾、シンガポールの施設も参加し、アジア人に対する効果と安全性を確認しました。

「これまで欧米主体で薬剤の開発が進んできましたが、アジア・欧米での人種差による副作用などの違いもあります。アジア特有のニーズに応えるためにも、当センターが中心になってアジアでの乳がん治療開発を進めて行く必要があります。PATHWAY試験は、その第一歩と位置づけられます」(齋藤医師)



まえだ・ひなこ / 2011年杏林大学医学部卒業。慶應義塾大学病院一般・消化器外科助教、北里大学北里研究所病院乳腺甲状腺外科医長などを経て、2024年より現職。外科専門医、乳腺外科専門医、乳房再建用エキスパンダー/インプラント責任医師。

さいとう・あゆみ / 2011年高知大学医学部卒業。亀田総合病院腫瘍内科医長などを経て、2021年より現職。アビアランス支援センター・スタッフ兼任。AYA世代(思春期・若年成人:15~39歳)のがん患者の支援にも力を入れている。

ドラッグ・ロスの解消を 目指した体制整備も

近年、海外で承認され使用されている治療薬が日本で使えるようになるまでに時間差が生じる「ドラッグ・ラグ」、そもそも日本で開発さえ行われず薬が使えない「ドラッグ・ロス」が、乳がん領域でも問題になっています。

中央病院が運営事務局となっている日本臨床腫瘍研究グループ(JCOG)では、ドラッグ・ラグとドラッグ・ロスを少しでも解消するために、2024年11月から、乳がんの医師主導治験であるプラットフォーム試験(S-FACT試験)を開始しました。あらかじめ、手術可能な乳がんの患者さんを対象にした薬の開発を目的とした臨床試験を複数同時に進められる体制を整えておき、新薬の候補が出現したら、この基盤を活用して迅速に臨床試験を進めるようにする仕組みです。研究に携わる齋藤医師は、この試験のメリットについて、次のように話します。

「通常は、有望な新規薬剤候補に対して製薬企業が臨床試験を一から立ち上げる必要があります。そのためには膨大な費用と労力がかかります。このプラットフォーム試験では、受け皿となる基盤がすでに整備されているので、有望な治療薬の候補が登場したら、迅速に臨床試験が始められます。薬の開発が今よりもスムーズに進みますし、このような取り組みによって国際共同臨床

試験への参加も加速化すれば、日本の乳がん患者さんに、いち早く薬を届けることにつながる可能性があります」

プラットフォーム試験では、まずはトリプルネガティブの患者さんを対象にした臨床試験をスタートしており、現在の標準治療より効果の高い術前薬物療法の開発を目指しています。

プラットフォーム試験以外にも、中央病院では、乳がんの臨床試験を複数進行中です。その情報は、ホームページ[※]で閲覧できます。

「患者さんが臨床試験に参加するメリットは、まだ保険診療では認められていない有望な治療薬候補にいち早くアクセスできる可能性があることです。当センターの使命は、新たな治療法を開発し、がんの克服を目指すことです。今後も、がんになって不安を抱える患者さんを全力でサポートしつつ、乳がんの治療開発に力を入れていきたいと考えています」(齋藤医師)

前田医師も「乳腺外科、腫瘍内科、形成外科、放射線治療科をはじめ、それぞれ高い専門性を持った乳がん治療チームが連携して、患者さん一人ひとりに合った治療を提供していますので、安心してご来院ください」と強調しました。

※中央病院
患者さん向け治験サイト





食

からがん治療を応援します

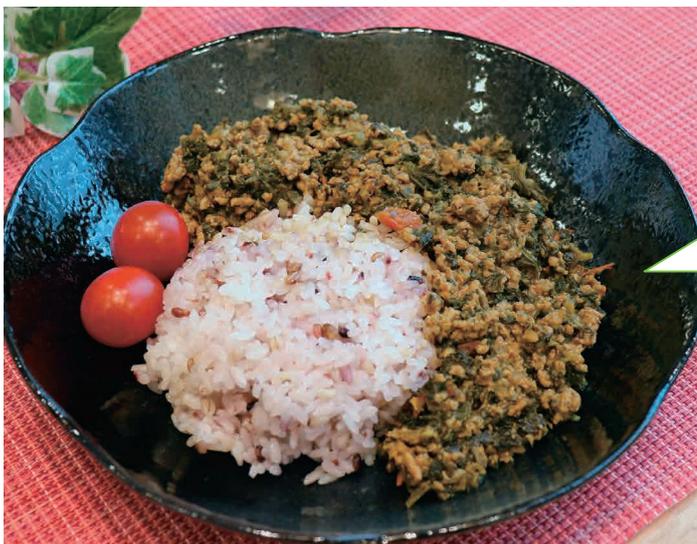
CHEER!

Cancer, Help, Eat, Easy, Recipe

がん治療に伴う症状別に作られたレシピを通して、食べること、作ることが楽しみとなるように、がんと食事に携わるすべての人へ、チアー（応援）をおくります。

今回は貧血の方におすすめのパセリやあさりを使ったレシピを紹介します。

レシピ考案 東病院栄養管理室



栄養量 (1人分)
エネルギー516kcal たんぱく質 24g 食塩相当量 1.4g
鉄 6.2mg ビタミンC 57mg (栄養量は雑穀ご飯120gを含む)

パセリのキーマカレー

●材料 (4人分)

油：大さじ1	A	水：100ml
おろしにんにく：小さじ1		カレー粉：大さじ2
おろししょうが：小さじ1		ウスターソース：大さじ2
玉ねぎ：1個		ケチャップ：大さじ2
ひき肉（合挽）：400g		パセリ：120g
ほうれん草：1/2束		塩：少々
トマト：1個		

●作り方

- ① パセリはよくふり洗いをした後、茎を除き、ざく切りにする。玉ねぎ、ほうれん草はみじん切りに、トマトは1cm角に切る。
- ② 油大さじ1を熱し、おろしにんにく、おろししょうがを炒める。香りが出てきたら、玉ねぎを中火で炒める。
- ③ 玉ねぎが透き通ってきたら、ひき肉を加える。ひき肉の色が変わったら、ほうれん草とトマトを加えてさっと炒める。
- ④ Aを加えひと混ぜし、パセリを加える。蓋をして5分、蓋をとって2分煮る。
- ⑤ 塩で味を整える。



■鉄・ビタミンCの豊富なパセリをたっぷり使ったレシピで、食欲不振や味覚異常、貧血の方へおすすめです。ビタミンCは鉄を吸収しやすい形に変えます。

あさりの佃煮

●材料 (4人分)

冷凍むきあさり：200g	醤油：大さじ1
しょうが：20g	水：大さじ1
酒：大さじ1	砂糖：小さじ1
みりん：大さじ1	

●作り方

- ① しょうがは千切りにする。
- ② あさり以外の材料をすべて鍋に入れ、強火にかける。
- ③ 沸騰したら、凍ったままのあさりを入れ、中火で3分程度煮る。
- ④ 強火にし、汁気がなくなるまで煮詰める。



栄養量 (1人分)
エネルギー73kcal たんぱく質 10.6g 食塩相当量 1.2g
鉄 15.1mg ビタミンB12 32.0μg



■市販品より塩分控えめのレシピです。
■あさりには鉄やビタミンB12が豊富に含まれています。ビタミンB12は血液をつくるのに必要なビタミンです。

がん患者さんの生活の工夫コレクション

がん患者さんの具体的な悩みから、生活の工夫やCHEER!のレシピ動画などを紹介するショート動画ができました。右の二次元コードからご覧いただけます。



東病院栄養管理室主催の「柏の薬料理教室」から生まれたがん症状別レシピ検索サイト「CHEER!」。レシピのほかにも、がんと食事に関する情報やQ&Aも掲載しています。

詳細はこちら▶▶▶





みらいのチカラ

スタッフ紹介



東病院 薬剤部 薬剤師
おくなま 真白
奥中 真白

安全に化学療法が実施できるよう支援しています

病棟薬剤師として入院時の持参薬鑑別や入院患者への化学療法を担当しています。持参薬鑑別では、普段使用している薬剤の用法用量の確認や、休薬が必要な薬剤を中止いただいているかなどを確認しています。また、化学療法の投与時には、投与する抗がん薬の種類や量・投与方法が適正か、減量が必要な副作用の発現がないかなど、安全性を担保するための事前チェックを行っています。化学療法投与後は、副作用確

認や処方される薬の説明を行い、安全に治療が進められるよう支援しています。

患者さんの視点に立つことを大切に

がん治療の進歩は目覚ましく、新たな抗がん薬や支持療法薬が日々開発されています。その分、副作用マネジメントも複雑となりますが、しっかり対策することが重要です。化学療法の副作用対策では、患者さんが副作用に対してどのように捉えているのかを把握することも、セルフケアを支援していくうえで大切にしています。副作用や薬に関する知識が十分に伝わっているのか、患者さん自身がいまの状態でよいと判断しているのか、薬の形状や内服タイミングなどで服用が難しいのかをその都度考えて、一人一人に合った対策を検討するようにしています。本人のみでの管理が難しい場合は、ご家族に説明するなど、自宅での生活を見据えた説明を行うようにしています。

東病院のここがイイ！

医師、看護師、薬剤師など職種間の垣根が低く、患者さんの問題解決に向けて、各職種がそれぞれの専門分野の知識を活かして、自発的に意見を持ち寄りながら治療を進めていく組織風土が東病院の良いところだと思います。



リレーコラム

ココロのとびら

日々の充実感やよろこびを取り戻すには

行動活性化療法ってご存じですか？



中央病院 精神腫瘍科 心理療法士
公認心理師/臨床心理士
おがわ ゆうこ
小川 祐子

病気がわかってから、「外出が少なくなった」「好きなことが楽しめなくなった」と感じることはありませんか？病気を抱えながらの生活はさまざまなストレスや不安をもたらします。治療や体調の不安から、つい家にこもりがちになり、活動の機会が減ってしまうことがあります。すると、充実感やよろこびを感じる場面が少なくなり、気持ちも沈みがちになるという悪循環が起こりやすくなります。

このようなときに役立つ方法のひとつが「行動活性化療法」です。これは、自分にとって大切なこと(価値)に目を向けながら、無理のない範囲で日常の中に小さな行動を取り入れていくカ

ウンセラリング方法です。少しずつ行動を重ね、その行動を通して得られた喜びや達成感に焦点をあてることで、悪循環を断ち切り、気持ちの落ち込みの改善が期待できます。

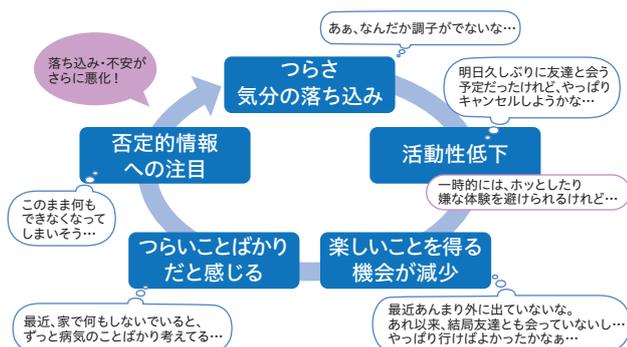
中央病院では、2016年から専門外来を設け、全7回の個別カウンセリングを対面で行っています。個別カウンセリングの前に事前面談で現在の困りごとを伺い、この療法がどのように役立つかをお伝えしたうえで、希望される方にご参加いただいています。保険診療で受けられます。

対象は当院に通院中の患者さんですが、他の医療機関とも連携して臨床試験を行っています。ご希望に応じて他院を紹介することが可能な場合もありますので、関心のある方はお気軽にご相談ください。

行動活性化療法に興味がある方

ホームページをご覧ください、お電話にてご連絡ください。
中央病院:03-3542-2511(代表)
精神腫瘍科・小川宛に行動活性化療法について
問い合わせがある旨をお伝えください。

HPはこちら



ご寄付のご報告

当センターから感謝を込めまして、ご芳名を掲載させていただきます。
寄付者ご芳名（敬称略 / 五十音順）*ご希望者のみ掲載しております。

(2024年10月1日～2025年5月31日)

■がん研究・がん医療のための寄付（使途を指定しない寄付）

一般社団法人人生安心サポートセンターきらり	株式会社アイ・コーポレーション	株式会社丸産技研
株式会社 NTT データ グローバルソリューションズ	株式会社ディアウーマン	株式会社飛竜企画
株式会社ビルダリッジ	株式会社 FROMAGERIE つくば	株式会社メスブ・コーポレーション
株式会社リレーションズ	Candriam SCA	共立株式会社
第4回メモリアルコンサート代表 片岡智浩	盛岡中央高等学校 Terry Fox Run	税理士法人ここぶら
相澤俊 青木隆幸 安藤幸紀 石井聡 石山健二 和泉コト	伊藤治郎 井上智之 今枝正信	
WONG TECK SOON 牛田将成 宇田川和人 大川邦和 大滝春樹	大谷瞭介 大粒来龍也 大野誠一	
岡田匡史 岡本司 荻谷柊哉 奥幸代 加藤晃彦 金子一美	金子寛 鍋木隆平 川上清子	
菊井治 菊池紘 木下晴義 鎌釣龍 小池秋夫（姉 雪江）	河野敏隆 小島昌治 児島紘	
五島政和 小林恭子 小林大雅 嵯峨幸雄 佐々岡星児 佐々木基行	佐瀬吉樹 佐藤慶一 佐藤政義	
澤井健 篠竹毅 柴田千佳 島田満 清水淳一 清水明子	杉山典子 鈴木公司 鈴木雅男	
須田雅之 関口弘之 関澤明德 関根多博 高木真理子・海津陸哉	高橋郁子 滝沢克優 田中正隆	
田邊勉 丹沢達明 チームシカ（元気になるシカ!）	張兆存 土井徳秀・和子 戸谷大地	
中川要司 中里淳 中島厚美 中村実 西沢次男 野根山好子	野々山哲弘 萩原朋和 橋浦麻生子	
橋本美和子 服部正明 原口榮一 張替成二 日野美枝 平岩義浩	平子景子 深澤文子 福岡可奈子	
福島一 藤井伸子 藤原文人 藤原美紀 舟山芳告 古田紀之	星澤紅葉 堀田淳 松本芳江	
丸崎光彦 三島和子 水越和治 水野弘達 水野保 水野百花	三反崎太一 御堂開地亜美佳	
村上直実 村木基 村本高史 目黒賢一 望月浩司 本橋洋一	森佳奈 森田勉 山口聡子	
山下美佐子 山田拓 山田好子 山野井聡 山辺康宏 山本シゲ子	湯浅亮平 吉江健志 李隆徳	
若林正城 和田京子 渡辺美風 渡辺理緒		

■プロジェクト寄付【使途指定寄付】

東病院・建替整備事業 がん撲滅支援基金 会長 ほのか太郎 青木禮子 石塚悟 梅宮知子 梅宮洋 江波戸理理 小川勇 片平巖 片山信子 木村とし子 佐藤昌義 志賀照子 進士浩司 進士美喜子 関根司 瀧澤進 田仲みどり 角田和穂 内藤豊 星野昇 村上邦治 村山満 吉田雅彦	つくるを支える 届けるを贈る『がん情報ギフト』 兵庫県立武庫荘高校 5 回生還暦パーティー 有限会社ノエルコーポレーション 市原真 岡崎恭弘 熊澤悟史 河野みづゑ 古賀輝樹 佐藤尚之 真田敏宏 日向良和 古川浩気 真栄里隆代 山崎宏之 吉岡真紀子 岡田隆	FUTUREプロジェクト 医療法人社団 邦栄会 本間内科医院 株式会社 maruco ゆん 第一生命保険株式会社 阿部恵美子 伊東智子 大島浩幸 大見祐太 野城知恵 はなりーまん 濱田有史 本間郁子 ROKA 宮前肇 安永明子 吉崎有希絵・吉崎響・弘川炎森	
Endeavor 福川大和	SCRUM-Japan 猪田由里子	NEXT がん撲滅支援基金 会長 ほのか太郎 青木光 江波戸康幸 大江真理 加藤康之 進士浩司 高安英雄 高安星子 角田和穂 野村昌弘 橋本厚平 林田牧子 福原三郎 藤原文人 水谷真基 山村千春	MIRAI project 佐藤文雄 アカイケ カオルコ 清水誠 山田好子

■物品のご寄付

NPO 法人こどものちから	ボランティアサークル ケイコズクラブ	公益財団法人がんの子どもを守る会
株式会社日本ホールマーク	金原出版株式会社 赤坂明子	東美野子 小宮山充 (YouTube 名:らいちょう)
Cimi Cat Painter		

■国立がん研究センター基金について

国立がん研究センター基金は2020年4月に設置されました。当センターの理念「社会と協働し、全ての国民に最適ながん医療・がん予防を届ける」にご賛同いただける皆様からの支援にお応えし、新たな治療の開発、また、将来の病院建替を含めた患者さんの療養環境の整備など、国民の皆様へ提供する最適な医療の更なる発展のために活用させていただきます。ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



■ご寄付への感謝

ご希望の場合、寄付者のお名前を「日々歩」に掲載させていただきます。

■税制上の優遇措置

国立がん研究センター基金へのご寄付には、特定公益増進法人への寄付として税法上の優遇措置があります。

■お手続きについて

国立がん研究センター基金へのご寄付はWEBサイトからお申し込みいただけます。クレジットカード、銀行振込でご寄付いただけます。



お問い合わせ

国立がん研究センター 寄付募集担当(築地)
TEL:03-3547-5333 Eメール:nckkifu@ncc.go.jp
受付時間:平日9時～12時/13時～16時

国立がん研究センター東病院 事務部 寄付担当
TEL:04-7133-1111(内線91460) Eメール:kifu@east.ncc.go.jp
受付時間:平日9時～16時



国立研究開発法人
国立がん研究センター
National Cancer Center Japan



中央病院
〒104-0045
東京都中央区築地5-1-1
TEL:03-3542-2511(代)

東病院
〒277-8577
千葉県柏市柏の葉6-5-1
TEL:04-7133-1111(代)